

能見建設株式会社

2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年6月1日～2024年5月31日)



発行日: 2024年12月25日

改訂日:

ごあいさつ

能見建設株式会社は、兵庫県中北部を活動範囲とし、建設業と産業廃棄物収集運搬業を営む企業です。昭和56年の創業以来、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で38年を迎えました。

この度弊社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一步を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

環境経営方針

弊社は、土木・建築・解体工事請負・産業廃棄物収集運搬業を主とする事業活動によって、快適で活力ある社会の実現を目指しておりますが、それと共に美しい自然、豊かな資源をも共に次世代に手渡す責務を負っております。

また、2015年、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)の17の目標のうち、建設業である弊社は、発注者や取引先とともに、特に

- ・気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる
- ・強靱なインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
- ・陸上生態系の保護、回復及び持続可能な利用の促進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

に全社一丸となって注力し、地球温暖化の防止、循環型社会の構築など、具体的そして能動的に環境への取組を進めてまいります。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進する(電気、ガソリン、軽油、灯油)。
3. 廃棄物の3R(減量、再利用及び再生利用)を推進する。
4. 水使用量の削減を推進する。
5. 環境配慮型製品の調査研究及びそれらを使った構築物の積極的な提案を推進する。
6. 環境経営方針は全従業員に周知する。

制定日： 2011年6月20日
改定日： 2020年6月30日

能見建設株式会社
代表取締役 能見信之

□組織の概要

(1) 名称及び代表者名

能見建設株式会社
代表取締役 能見信之

(2) 所在地

本社(登記上) 〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷317番地30
事務所 〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷261番地34 ハイソ和泉107号
倉庫・資機材置場 〒679-3302 兵庫県朝来市生野町円山字ソリ327番地1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	代表取締役 能見信之	TEL:079-679-3254 e-mail: n-nohmi@nohmi-const.jp
担当者	取締役 能見悦子	TEL:079-679-3254 e-mail: nj30355@nifty.com

(4) 事業内容

法人設立年月日 昭和64年1月4日
資本金 9,500,000円

建設請負業

兵庫県知事許可 般1 第600714号 令和2年2月10日許可
有効期限 令和7年2月9日

(土木一式、建築一式、とび・土工、大工、左官、石、屋根、管、タイル・れんが・ブロック、
鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、
熱絶縁、建具、水道施設 各工事業)

産業廃棄物収集運搬業(事業区分:収集運搬業(積替え・保管を含まない))

兵庫県知事許可 第2807085425号 令和4年6月3日許可
有効期限 令和9年6月2日

許可品目: 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

一般廃棄物収集運搬業

南但広域行政事務組合許可 第12号 令和6年4月1日
許可区域: 養父市内・朝来市内
有効期限 令和8年3月31日

(5) 事業の規模

	本社	事務所	資材倉庫	資機材置場	合計
従業員	1名	2名	無人	無人	3名
延べ床面積	9㎡	77㎡	63㎡	471㎡	620㎡

建設業 年間完成工事高 50百万円（令和5年度 税抜き）

産業廃棄物収集運搬業（各案件の建設工事と一括請負、令和5年度）

収集運搬量 100.865 t
運搬車輛 4 t ダンプトラック 1台
3 t ダンプトラック 1台
軽トラック 1台
積替・保管施設 なし
収集運搬料金 個別見積もりによる

一般廃棄物収集運搬業（各案件の建設工事と一括請負、令和5年度）

収集運搬量 24.150 t
運搬車輛 4 t ダンプトラック 1台
3 t ダンプトラック 1台
軽トラック 1台
積替・保管施設 なし
収集運搬料金 個別見積もりによる

(6) 事業年度 6月1日～翌年5月31日

□ 認証・登録の対象範囲

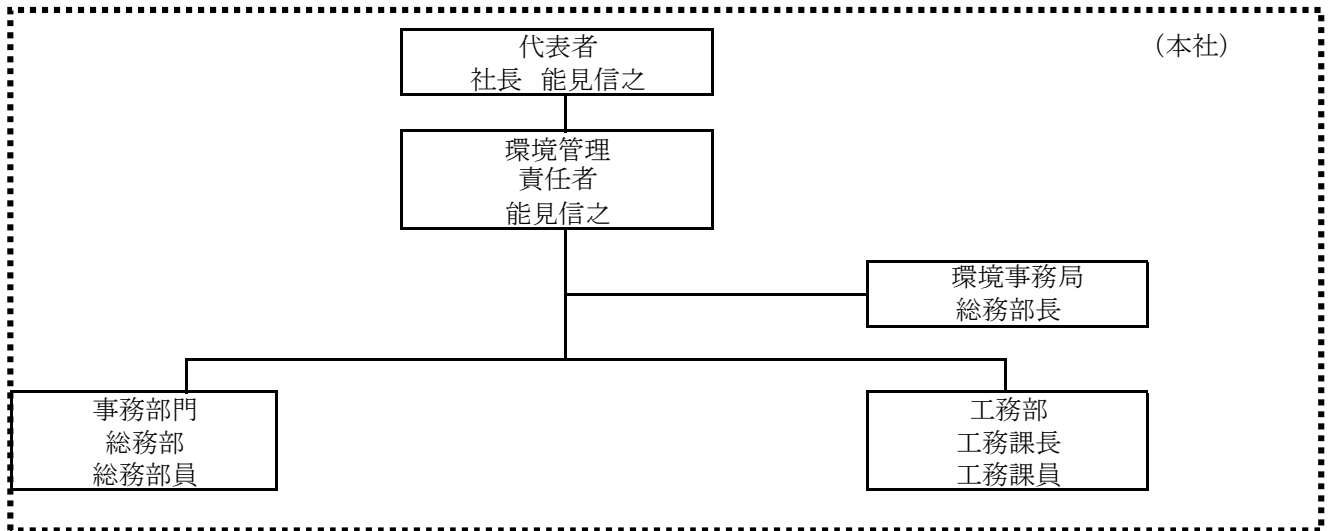
登録組織名: 能見建設株式会社

対象事業所: 本社
事務所
資材置場

対象外: なし

活動: 建設請負業
(土木一式、建築一式、とび・土工、大工、左官、石、屋根、管、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設、解体の各工事業)
産業廃棄物収集運搬業
一般廃棄物収集運搬業

□組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 経営における課題とチャンス の明確化 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し・指示 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理、 環境関連法規制等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を確認 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括 環境経営の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 環境経営目標・環境経営計画書原案の作成 環境経営の実績集計 環境関連法規制等取りまとめ表の作成 環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 特定された項目の手順書作成 特定された緊急事態への対応のための手順書作成 環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の運用管理 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	23,073	17,327	12,783	16,391
電力	kWh	2,777	2,734	2,274	2,784
ガソリン	L	3,391	3,648	2,602	2,900
軽油	L	5,516	3,154	2,247	3,241
廃棄物排出量	トン	509	118	106	102
一般廃棄物	トン	0.9	1.1	1.0	1.2
産業廃棄物	トン	508	117	105	101
水使用量	m ³	61.0	52.0	48.0	72.0
化学物質	kg	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量(収集運搬)	t	0	0	0	0
受託した一般廃棄物の処理量(収集運搬)	t	12.8	24.0	13.0	24.1

※受託した一般廃棄物の処理量(収集運搬)については、2019年度から集計を始めた。

□環境目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目		年度	2020年度 基準年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
I. 二酸化炭素 排出量合計		kg-CO ₂	23,073	22,612	22,381	22,150	21,919	21,689
電力 使用量削減 (※注1)	kWh		2,777	2,721	2,694	2,666	2,638	2,610
	kg-CO ₂ 対基準		975	955	945	936	926	916
ガソリン 使用量削減	L		3,391	3,323	3,289	3,255	3,221	3,188
	kg-CO ₂ 対基準		7,867	7,710	7,631	7,552	7,474	7,395
軽油 使用量削減	L		5,516	5,406	5,351	5,295	5,240	5,185
	kg-CO ₂ 対基準		14,231	13,947	13,804	13,662	13,520	13,377
II. 水使用量 削減	m ³		61.0	59.78	59.17	58.56	57.95	57.34
	対基準			△2%	△3%	△4%	△5%	△6%
項目		年度	2020年度 基準年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
III. 廃棄物排出量								
一般廃棄物 (総排出量) (a)		kg	(参考12,880)					
一般廃棄物 (注2) (1)最終処分量削減(b)	kg		11,820	11,820	11,820	11,820	11,820	11,820
	対基準			基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ
一般廃棄物 (注2) (2)リサイクル率向上	%		8.22	8.38	8.47	8.55	8.63	8.71
	対基準			↑2%	↑3%	↑4%	↑5%	↑6%
産業廃棄物 (総排出量) (a)		トン	(参考508.34)					
産業廃棄物 (1)最終処分量削減(b)	トン		7.98	7.98	7.98	7.98	7.98	7.98
	対基準			基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ
産業廃棄物 (2)リサイクル率向上	%		98.60	98.60	98.60	98.60	98.60	98.60
	対基準			基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ
IV建設工事における 環境配慮		件	11件	11件	11件	11件	11件	11件
		対基準		基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ

注1) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2020年度関西電力公表の0.351kg-CO₂/kWhを使用し再計算した。

注2) 一般廃棄物は、2023年度から、事務所発生廃棄物ではなく現場発生廃棄物の最終処分量とリサイクル率について管理する。

(2) 2023年度の実績

項目		2023年度における実績 (2023年6月～2024年5月)			
		目標(2020年度実績)	実績	達成度(%)	評価
		年度			
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO ₂	23,073	16,070	143.6	○
電力使用量	kWh	2,777	2,784	99.7	○
	kg-CO ₂	975	1,164		
ガソリン 使用量削減	L	3,391	2,900	116.9	○
	kg-CO ₂	7,867	6,728		
軽油 使用量削減	L	5,516	3,241	170.2	○
	kg-CO ₂	14,231	8,362		
II. 廃棄物排出量					
一般廃棄物	kg				
	発生量a		24,150		
	最終処分量b	11,820	22,080	53.5	△
	リサイクル率	8.22	8.57	104.3	○
産業廃棄物	トン				
	発生量a		100.87		
	最終処分量b	7.98	1.52	525.0	○
	リサイクル率	98.60	98.50	99.9	△
III. 水使用量削減	m ³	59.8	48.0	124.6	○
IV. 建設工事における 環境配慮	件	11	11	100.0	○

※注記1

※注記1

※注記1

※注記1、注記2

※注記1

※注記1

※注記1、注記2

※注記3

注)評価欄にて、○:達成(100%以上)、△:やや未達成(90%~100%未満)、×:未達成(90%未満)

※注記1 廃棄物の目標は最終処分量の削減と、リサイクル率の維持を目標とする。
総排出量は目標としない。当面、廃棄物への取り組みについては、この考えでいきたい。

※注記2 リサイクル率(%)=(総排出量a-最終処分量b)/総排出量a*100

※注記3 再生材の使用、発生材、発生残土の積極的なリサイクルの提案などを積極的に行った。

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
(目標達成)		
I 二酸化炭素排出量合計	◎	二酸化炭素総排出量は、目標値の29.6%減。売り上げ減を鑑みると、当然の結果か。詳細を見ると軽油(重機、ダンプトラック)使用量の少ない工事内容が多かったことが主因である。ともあれ、エコ運転をはじめ継続した活動の結果も出ている。今後も下記の取組を継続する。
電力使用量の削減 (目標未達成)		
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	△	冬季から春先のエアコン稼働時間が長かったことが影響している。なお、こまめな消灯々々、節電意識は根付いている。
・不要照明の消灯	◎	気付いた者が消灯し、声を掛け合った。
・パソコン・複合機他OA機器の管理(不要時の電源オフ)	◎	休日前、不在時など長時間不使用時だけではなく終業時オフにも対応できた。今後も節減を続けたい。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
ガソリン使用量の削減 (目標達成)		
・使用量の削減	◎	エコ運転が根付いている。
・不要なアイドリングストップ	◎	よくできたが、もっと意識をしエコドライブを実行する。
・適正な車輛の整備	○	全社員が注意し、報告・早期整備しているのでままできた。
・急加速・急停車の防止	◎	普段から安全運転に注意しているのでままできた。
・効率的な移動	○	無駄を省く計画性が見受けられる。ままできたが、気を緩めず次年度も計画的な移動を心がけたい。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・使用量の削減	◎	売上高激減の中で対目標値△59.3%と大幅減。 (1)エコ運転が根付いている (2)遠距離の現場の場合は夜間は現地に置かせてもらい相乗りで帰る配慮工夫ができている のも大きな要因だが、一番大きな要因は、軽油(重機、ダンプトラック)使用量の少ない工事内容が多かったことである。努力、工夫の効果が分かりにくい部分ではある。
・不要なアイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	◎	普段より安全運転に注意しているのでままできた。
・適正な車輛・重機の整備	◎	全社員が注意し、報告・早期整備しているのでよくできた。
・重機の空ぶかしの禁止	◎	普段より経済運転に心がけているのでよくできた。
・重機の最高出力の80%での作業	◎	普段より経済運転に心がけているのでよくできた。
・効率的な移動	◎	かなり計画的に運航している。努力が見てとれる。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。

II 廃棄物排出量の削減		解体工事など工事内容に大きく左右され、年度ごとに比べても意味がないので総排出量の数値目標は設定していない。排出量より排出物の分別の精度をいかに高めるかである。従来から廃棄物の分別は徹底しており、再生、再利用に向けた取組みは大きな成果を上げている。今後もリサイクル率の向上に努めていきたい。
一般廃棄物の削減		(目標未達成)
・最終処分量の削減	×	前年度までは主に事務所での排出量を管理してきたが、 ・受託処分数量に比べて極端に数量が少ない ・段ボール、紙ともに100%のリサイクルができていない ・生ごみは焼却せざるを得ず、管理する意味がないことから、本年度からは受託ごみの管理に切り替えた。 が、最終処分量増加は単純に受託量増加とイコールである。
・リサイクル率の向上	◎	
産業廃棄物の削減		(目標達成)
・最終処分発生量の削減	◎	工事内容に大きく左右されるが、分別の徹底の結果ともいえ 普段から分別を徹底しているのでよく出来た。 排出量を的確に把握しながら、削減に努める。
・リサイクル率の向上	◎	
III 水道水使用量の削減		(目標未達成)
・節水の周知徹底	○	引き続き節水を心がける。
IV 建設工事における環境配慮		(目標達成)
・施主へのPR	◎	施工計画段階で書面で情報を提供していく方法を継続。 受注内容により情報収集範囲、内容が特定されるのが難点である。
・メーカーからの情報収集	○	
		今後も継続していく。

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求事項(施設・物質・事業活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)の適切な分別と処分など 契約・産廃管理表の管理、産業廃棄物管理票交付等	遵守
騒音規制法	バックホウ、ローラー、コンプレッサー、発電機などのうち特定建設機械使用時の行政庁への事前届け出など	遵守
振動規制法	大型ブレーカー、削岩機、杭打ち機、杭抜き機などのうち特定建設機械使用時の行政庁への事前届け出など	遵守
大気汚染防止法	石綿の周辺への曝露防止 事前調査と計画、結果の報告、記録の保存	遵守
労働安全衛生法	石綿の周辺への曝露防止 事前調査と計画、結果の報告、記録の保存	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用の簡易点検・記録・保存、漏えい防止	遵守
	解体工事でのエアコンなどの有無確認・発注者への説明、フロンの適切な回収	遵守
建設リサイクル法	分別解体の実施、特定建設資材廃棄物の適切なリサイクル	遵守
家電リサイクル法	使用済み家電4品目の適切なリサイクル	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適切なリサイクル	該当なし
消防法	消火器の定期点検	遵守

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。また、関係当局より違反などの指摘もありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し

当社は美しい自然環境と豊かな資源を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、特に本年度からはSDGsへの取り組みを明文化し、エコアクション21に新たな決意をもって取り組んでいます。

現場については、毎朝の朝礼を通じたお互いの気づき活動、あるいはエコドライブ、分別収集などが自然な形で全員の身についてきたと感じています。

今後も勉強会などを通じ、より一層の知識習得と実践に取り組んでいきたいと思っています。

全体としては、コロナやインフルエンザ等感染症の蔓延に振り回され、相変わらず経済先行きが見通せない中、投資をなるべく抑えて、目標を設定し、達成に向けて努力して来たことは、とても評価出来ると考えます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
目標・環境経営計画	要	電力のCO2換算値は関西電力2022年度を使用する。 電力使用量の基準年度を2023年に再設定する。 一般廃棄物の環境目標から排出量を削除しリサイクル率のみとすることについて検討すること
実施体制	否	—
その他	否	—

見直し年月日 令和6年6月25日 代表取締役 能見信之

□環境活動の紹介



朝礼では、安全行動とともに騒音の抑制、急加速急発進の禁止も促します。もちろん後ろのクレーン車はアイドリングストップ中！



これも朝の風景。もちろん後ろのコンクリートポンプ車はアイドリングストップ中！



月一回ペースで行う安全衛生教育。災害発生時の避難方法や緊急連絡体制もここで伝えます。(この写真は冬季のもの。エアコンの温度を抑えているので全員ウォームビズで…。)



土石流対策避難訓練。定期的にこんな訓練も行います。



現場事務所には吸殻入れと消火器。朝、作業現場に出て行って夕方ここに帰ってきます。ポイ捨て厳禁！



建設機械は低騒音型、排出ガス対策型。このステッカーが目印です。



現場の土とモルタル殻が混じってしまわないように丁寧に集積します。重さは、この袋1つで1tにもなります。



木くずは飛散して周辺を汚さないようにきちんとシートがけ。搬入先は、もちろん再生施設。木くずはここでチップになって次の役目をもらいます。



安全衛生パトロール風景。このとき、残材がきちんと片付いているか、産廃の分別状況、車輛や重機の整備状況などもチェックします。道路を汚していないか、埃がたっていないかなどもポイントです。



こちらも安全衛生パトロール。最初の測量から掘削、型枠組立、足場組立、溶接、生コン打設まで95%は自社直営です。安全は、まず整理整頓から。



河川工事に入ったときに、ついでにゴミ掃除。



土木工事用製品にも、このような「地球にやさしい」製品がどんどん開発・提供されているんですね。我々も、もっと情報アンテナを張らないと・・・。



型枠剥離剤も環境配慮型製品を使用しています。「エコマーク」認定の有無は、資材選定の大きな基準になりますね。



節電シール その1



節電シール その2



重要書類以外は再利用の上で再生に。
シール「シュレッダーにかけたらただのゴミ！」



エアコン温度設定シール
「夏期28℃ 冬季20℃ 厳守！」



複合機シール
「用紙の大きさは合っているか?」
「再利用紙ではだめか?」



分別は まずは事務所から
「新聞 雑誌 公告 それぞれ別梱包」



もちろん工事材料の梱包も今日まで大切に保管。



地域の方とともに。リサイクルの意識は高い



地域の中学校の資源回収をお手伝い



但馬5万人クリーン作戦へのボランティア参加。
南但クリーンセンターにて。



しかしそれにしても、投棄ゴミのバリエーションと
量の半端ないこと、、、。



これは、不慮のオイル漏れなどで環境に悪影響を与えないための油水吸着剤
4000～5000円/袋 は少し高いな



夜のプラットフォームで火災訓練。



おかげさまで、このような立派な賞を頂きました。
これは、弊社の仕事へのまじめな取り組みを評価して頂いたものと思います。
社員一同、心を新たに、これまで以上に精励いたします。

感謝状

能見建設株式会社

能見 信之 殿

あなたは安全の重要性を深く認識し現場での安全意識の高揚と安全運動推進に不断の努力を払い平成二十五年度工事において無事故無災害の成果を挙げられましたよつてここに感謝状を贈り感謝の意を表します

平成二十五年十一月二十二日

ジェイアール西日本ビルト安全衛生協力会

京都支部長

中島

克



感謝状

能見建設株式会社 殿

貴社は当社工事の施工において豊富な経験に基づく優秀な技術を發揮されるとともに誠意をもってあたられ抜群の成果をあげられました

これはひとえに貴社の優秀な技術と従業員の皆様のご苦勞の賜でありそのご努力に敬意を払い本状を贈り心より感謝の意を表します

平成二十五年十一月二十二日

株式会社ジェイアール西日本ビルト

京都支店長

小林 久利



本年も無事故無災害記録更新中です。これは、社員一人一人が無災害に向けて真摯に取り組んできたことによるものです。

感謝状

能見建設株式会社

能見 信之 殿

あなたは安全の重要性を深く認識し現場での安全意識の高揚と安全運動推進に不断の努力を払い平成二十五年工度工事において無事故無災害の成果を挙げられましたよつてここに感謝状を贈り感謝の意を表します

平成二十六年六月二十日

ジェイアール西日本ビルト安全衛生協力会

京都支部長

中島

克



感謝状

能見建設株式会社 殿

貴社は当社工事の施工において豊富な経験に基づく優秀な技術を発揮されるとともに誠意をもってあたられ抜群の成果をあげられました

これはひとえに貴社の優秀な技術と従業員の皆様のご苦勞の賜でありそのご努力に敬意を払い本状を贈り心より感謝の意を表します

平成二十六年六月二十日

株式会社ジェイアール西日本ビルト

京都支店長

小林 久利



おかげさまで、翌年もいただきました！ 2年連続です！！
お伺いしますと、連続受賞はなかなかないそうです。
これからの活動に力が入ります。
ありがとうございました。